

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 谷口 善信
所属 (School) 工学域電気電子系学類
学年 (Grade) 4
留学先 (Name of overseas institution)
ドイツ人工知能研究センター (DFKI)
留学期間 (study abroad period)
2018/10/4~2019/03/15
記入日 (Date) 2019/03/23

留学レポート Study Abroad Report

私は今回の留学が初めての海外生活で、これまでは旅行も含めて一度も海外に行ったことがありませんでした。そのため、今回の留学生活では、初めてのことがたくさんあり、貴重な経験をすることができました。

今回、私が留学を決めたのは、今回の留学が自分にとってとてもタイミングの良いものだったからです。私は大阪府立大学に入学してからの4年間、水泳部に所属していました。体育会の部活であり、僕自身全国大会への出場を目指して部活を優先していたため、学業との両立で精いっぱいであり、留学について考えることはこれまでありませんでした。

そんな部活動も夏で引退を迎えました。これまで部活動に費やしていた時間がぼっかりと空き、これからは研究に時間を使うことになるな、と考え始めていた矢先に、今回の留学の話を目にしました。留学の話自体は以前からあったのですが、私自身が部活動に専念していたため、あまり気に留めておらず、今回このタイミングで再び耳にすることができたのはよかったのではないかと思います。これまで力を入れていた部活から引退したこと、援助を行ってもらえるということ、そしてこの時期を逃すと留学を行う機会はないのではないか、という思いから、留学を行うことを決意しました。

当然、留学に際してたくさんの不安がありました。冒頭で述べたように自分自身はもちろんのこと、家族すら誰一人海外に行ったことがないので、日本以外の国の文化や習慣についての知識は全くのゼロでした。それどころか、飛行機に乗った経験も数えるほどだったので、無事に到着、帰国することができるのかさえも心配でした。さらに、これまであまり海外について目を向けていなかったことが災いして、語学力というものも全くと言っていいほどありませんでした。そもそも積極的な性格でないにしても、海外の人と話すとなると委縮してしまうので、まともにコミュニケーションをとることができるのか不安でした。今にして思えば、かなり無鉄砲な決断だったと思います。

今回の留学させていただいたのはドイツ人工知能研究センター (DFKI) で、以前にも同じ研究室の先輩方も留学に行っていた場所でした。私はここで半年間研究を行い、卒論を執筆しました。DFKIでの半年間の研究生活はとても実りあるものでした。

まず、研究の最先端の場所にいられたことはとても良い刺激となりました。周りの研究者の研究に対する高い意識、しっかりとメリハリ。研究を行う時間は人それぞれであっても、みな目標に対して突き進んでおり、これまでの自分の態度と比較せざるを得ませんでした。

そして、自分の意見を伝えることの難しさを改めて実感しました。言語の違い、自身の語学職も原因ではありますが、自分自身がしっかりと自分の思っていることを理解していないと、それを伝えることができないのだと感じました。自分の言いたいことをしっかりと理解していれば、たとえ言語が違っていても自分で言葉を見つけて伝えることができる。それが分かってからは、まず相手に伝える前に、自分で意見を筋道立てて伝えられるように整理するようになりました。

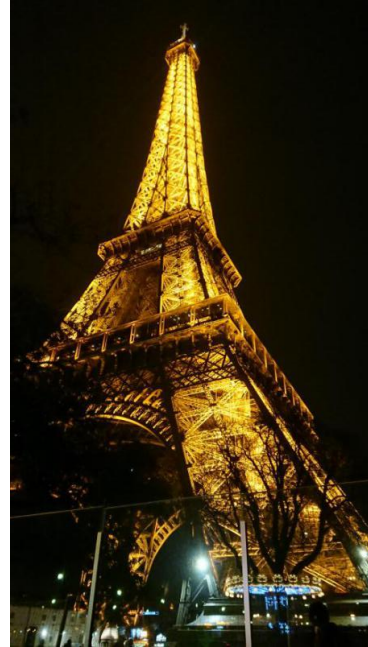
研究以外で印象に残っているのは、ドイツでの「日本」との交流でした。

ドイツ滞在中、私は何人もの日本人と交流を行うことができました。仕事でドイツに滞在している方、ドイツに住んでいる方。様々な日本人の方々と話ができて、さらにその方を通じて日本が好きなドイツ人、日本語を勉強中の外国人とも出会いました。引っ込み思案な私が、この留学期間中に、普段日本で住んでいるとつながることのないような人であることができました。これだけでも今回の留学は意味があったのではないかと思います。

留学生活の中で最も楽しかったのは、やはり旅行でした。異国の地、それも初めての海外となれば、旅行せざるを得ませんでした。私はドイツ国内の6か所と同時に留学していた研究室内の友人とともにパリ、ロンドンへと行きました。その中でも印象的だったのは、別の国であるロンドン、パリ、そして初めての一人旅で立ち寄ったコンスタンツという町でした。フランスのパリではドイツとはまた違った文化や町の様式を見て回ることができ、モンサンミッシェルやエッフェル塔など様々な観光名所を回ることができました。私たちはロンドンで年を越したので、ロンドン旅は印象に残っています。沢山の人が新年の瞬間を祝い、ロンドン中が大騒ぎでした。ドイツとスイスの国境の町、コンスタンツは小さいながらもとてもきれいな町でした。古い建物が残り、歩いているだけでも楽しく、湖に面しているので景色もよかったです。



ビッグ・ベン (ロンドン 時計塔)



エッフェル塔 (パリ)

最後になりますが、今回の留学では日本では体験のできない、様々な経験をする事ができました。海外では日本とは異なり、サービスが丁寧でなかったり、時間通りに電車が動かなかったりなど、様々な問題もありました。それでも、そのような経験をしてきたことで、以前よりも自分に対して自信を持てるようになり、海外で研究を行ったことで、これからの研究生活についての意識も少し変わったように思えます。今回留学を行うことができたのは、様々な人、機関からの支援があったからこそです。今後は、この留学の経験を自身の将来のために生かそうと思います。



コンスタンツの街並み